

ワールドキャンパスインターナショナル
2023年度プログラム
報告書



1. プログラムの概要

<プログラムの全体概要>

① スケジュール

【2023年ワールドキャンパス・ジャパンプログラム】

セッション	日程	都市名	主な活動
第1セッション	6月15日～6月22日	鹿児島県伊佐市	田植え体験、居合道体験、中学・高校活動、大口酒造訪問、菱刈鉦山見学
	6月22日～6月27日	熊本県熊本市	高校・大学活動、YMCA 訪問、慈恵病院訪問、ツアー
	6月27日～7月4日	奈良県宇陀市	忍者・座禅体験、小学校活動、赤目滝散策
第2セッション	7月5日～7月12日	大阪府吹田市	表敬訪問、大学活動、市民文化活動、日本文化体験
	7月12日～7月18日	長野県上田市	中学校活動、スポーツ交流、戸隠・善光寺・別所散策、国際交流イベント参加
	7月18日～7月24日	神奈川県伊勢原市	大山登山、市役所職員交流、甲冑体験、防災センター・藍染・駒体験、高校活動、ロータリークラブ活動
第3セッション	7月25日～8月2日	千葉県我孫子市	古典芸能・長刀・空手体験、小学生・大学生交流
	8月2日～8月6日	茨城県水戸市	弘道館・水戸城ツアー、畳体験、地域交流
	8月6日～8月13日	東京都多摩市	異世代交流、文化発表会、企業訪問、中学校・大学活動

(参考)

【2022年ワールドキャンパスジャパンプログラム】 コロナ禍での実施のため4都市での活動に限定

日程	都市名	主な活動
7月7日～7月14日	大阪府吹田市	表敬訪問、大学活動、小学生交流、日本文化体験
7月14日～7月19日	奈良県宇陀市	忍者・座禅体験、室生寺、赤目滝散策
7月19日～7月25日	神奈川県伊勢原市	藍染・宮大工・駒回し体験、高校活動、防災センター訪問、納涼祭体験
7月25日～8月31日	千葉県我孫子市	長刀・和太鼓体験、大学生によるツアー

② 参加者

コロナによる渡航規制後初めて、各国のパートナー大学、日本語学校やその他の団体での説明会を実施し、リクルート活動を行なうことが出来た。又オンラインでの告知活動も積極的に継続し、特に複数の留学推薦サイト等を上手く活用し、対面での説明会ができない国や地域からの参加者勧誘に努めた。

今回は、説明会を開いた地域の中でも北欧からの申込者が圧倒的に多く、説明会でプログラムの内容を熟知しているため、その後の参加に繋がる確率も高かった。引き続き、プログラム同窓生である先輩から後輩への口コミでのプログラム情報の提供も盛んに行われ、プログラムの信頼の確立及びプログラムへの参加へと繋がった。

今回は、留学推薦サイト等のネット検索等から多くのアメリカ人がプログラムへの申請をしてきており、新規の国のアイルランドからの参加者の獲得にも繋がった。

また今回は、初めてアメリカのテキサス州サンアントニオ市の白根財団スカラープログラムから5名の学生の参加が実現し、今後の展開が期待される。

2023年度参加者数：13カ国、52名（カウンセラー6名を除く）

（各セッション人数：第1セッション 11(16)/ 第2セッション 30/ 第3セッション 19)

※ 累計 586 名、53 カ国：アメリカ、カナダ、メキシコ、ベネズエラ、ドミニカ共和国、ブラジル、コロンビア、ポルトガル、スペイン、イギリス、アイルランド、ドイツ、オーストリア、ポーランド、ベルギー、オランダ、ルクセンブルグ、フランス、イタリア、スイス、ギリシャ、チェコ、スロバキア、デンマーク（グリーンランド含む）、スウェーデン、ノルウェー、フィンランド、アイスランド、ロシア、セルビア、スロベニア、ルーマニア、ウズベキスタン、キプロス、トルコ、イスラエル、ソマリア、カタール、ケニア、ウガンダ、ガボン、オーストラリア、ニュージーランド、インド、パキスタン、ネパール、インドネシア、ミャンマー、モンゴル、韓国、中国（香港含む）、台湾、日本

（参考）

2007年度プログラム：15カ国、39名
2008年度春季プログラム：13カ国、23名
2008年度夏季プログラム：12カ国、22名
2009年度春季プログラム：14カ国、23名
2009年度夏季プログラム：18カ国、35名
2010年度プログラム：18カ国、39名
2011年度プログラム：8カ国、20名
2012年度プログラム：13カ国、49名
2013年度プログラム：12カ国、34名
2014年度プログラム：17カ国、47名
2015年度プログラム：13カ国、37名
2016年度プログラム：11カ国、36名
2017年度プログラム：20カ国、47名
2018年度プログラム：12カ国、32名
2019年度プログラム：18カ国、41名
2022年度プログラム：7カ国、10名

《第1セッション》



＜スケジュール＞

日付	概要
6月15日(木)	鹿児島空港→伊佐市集合、対面式
16日(金)	オリエンテーション
17日(土)	田植え体験、居合道体験
18日(日)	ホストファミリーデー
19日(月)	大口明光学園中学校・高等学校訪問
20日(火)	大口酒造工場見学、事業勉強会及び意見交換、菱刈鉱山見学
21日(水)	ありがとうイベント
22日(木)	移動→熊本市、熊本県立第一高校訪問、対面式
23日(金)	熊本県立大学訪問（書道、スポーツ交流など）
24日(土)	熊本城修繕工事過程学習、ありがとうイベント
25日(日)	ホストファミリーデー
26日(月)	YMCA 訪問（日本語授業）、慈恵病院訪問
27日(火)	移動→宇陀市、対面式
28日(水)	宇陀市紹介、地域小学生との交流（夢の里）
29日(木)	忍者体験、赤目四十八滝散策
30日(金)	室生小学校訪問、座禅体験
7月1日(土)	マイ箸作り、ありがとうイベント
2日(日)	ホストファミリーデー

3日(月)	パーソナルデー
4日(火)	解散

この夏初めて受け入れをすることとなった鹿児島県伊佐市を皮切りに、第1セッションは九州2都市と関西1都市での開催となった。伊佐市では地元の農業と焼酎の醸造をテーマに、田植え体験や地元大口酒造での工場見学、また「大口酒造の海外戦略」について、社長を始め社員の皆さんとWCIメンバーとの意見交換の時間が設けられた。参加者自身も受身では無く、一人一人が地域にどう貢献できるかを考えるきっかけとなり、WCIの活動目的の一つである「地域貢献」を実践し理解を深める良いスタートとなった。また伊佐米や焼酎、ブランド豚などを実際味わうことにより、食を通して伊佐市について学ぶ機会は参加者にも好評だった。

熊本市では熊本県立大学の学生主催で、書道体験やスポーツ交流の時間を持つことが出来、数名の学生がありがとうイベントにも出演してくれた。5年振りとなる慈恵病院訪問では、病院としての意義と役割を学ぶだけでなく、看護部長等と他の国の養子縁組制度等について意見交換の場を持つことが出来た。

宇陀市ではコロナ禍のため昨年度は叶わなかった小学校訪問が復活し、放課後の学外活動など地元小学生との交流の機会に恵まれた。また恒例の忍者体験や赤目四十八滝散策、座禅体験を通じた仏教の学びは今年も参加者に好評であった。伊佐市と熊本市では中学校、高校訪問の機会もあり、セッションを通じて様々な年代の子ども達との交流の時間が持てた。

また第1セッションでは伊佐市の滞在期間に限定して、テキサス州サンアントニオ市の白根財団から5名の高校生を迎えた。日本語の習得レベルに関わらず積極的に活動に参加する生徒が多く、ホストファミリーからも受け入れを喜ぶ声を頂いた。参加者同士でも伊佐市終了時に彼ら高校生達が帰国する際は名残惜しい別れとなった。

● 鹿児島県伊佐市



<参加者の感想、印象に残った活動>

- ・ 田植え体験がとても楽しかった！（多数）理に叶った実践的な体験。自分達が食べているお米は誰かがこの作業を通じて届けてくれたもの、そして自分達が植えた苗がこの秋収穫されるお米に育ち、誰かのお茶碗に届くと言う循環の話に感動した。また一列に並んで行う田植え作業を通じ、他の参加者メンバーとも親睦が図れた。
- ・ 田植え体験の後の流しそうめん体験は初めて尽くしで面白かった！
- ・ 大口明光学園中学校・高校訪問。（多数）私達の受け入れのために沢山準備をして下さっていることに感動した。学校生活の違いを学んだり、期待以上の体験が叶い、まるでロックスターのような気分まで味わえた。
- ・ 大口酒造工場見学とツアー後の意見交換。未成年の参加者は試飲が出来ず、十分に活動の意図を理解出来ない難しさもあったかもしれないが、こうした草の根活動を通じ、自分達の意見を直接伝え、自分の価値観が将来的に海外戦略に反映されるかも知れないと言う面白さがあった。ワールド

キャンパスの活動目的である地域貢献が出来たと思う。また見学では、焼酎の製造方法とアメリカのビール製造との違いを学ぶことが出来て面白かった。

- ・ 居合道体験。直近で刀を見れて貴重な体験だった。

<ホストファミリーについて>

- ・ ホストファミリーが私とルームメイト達が居心地の良いようにいつも努力してくれた。
- ・ 最高のホストファミリー！私のことを理解しようと沢山一緒に過ごす時間を作ってくれて、日本や伊佐市についても多くのことを彼らから学んだ。
- ・ このセッションで一番結び付きを感じたホストファミリー。別れるのが辛くてまたいつか将来再び訪ねたいと思う。
- ・ ホストファミリーに連れて行ってもらった曾木の滝がとても印象的だった。また彼らが私達の活動スケジュールがタイトなことを理解してくれていたため、十分な睡眠時間を取れるよう配慮してくれた。
- ・ 言葉では十分伝え切れない位、素晴らしいホストファミリーでの体験が出来た。小学生の子ども達とも言葉の壁を感じない位、沢山一緒に遊んで色々な話も出来た。また家族の皆さんが伊佐について沢山のことを教えてくれた。
- ・ ホストファミリーが何事にも自分を加えて体験させてくれたので、日本語を含め沢山のことを学ぶことが出来た。

● 熊本県熊本市



<参加者の感想、印象に残った活動>

- ・ 熊本県立大学の学生との交流。(多数) バレーボール等のスポーツを通じ楽しい一日になった。大学生がどのように普段過ごしているのかを知ることが出来て興味深かった。また何人かの学生がありがらイベントのダンスと一緒に学んで、一緒に参加してくれたことが嬉しかった。
- ・ 熊本城の復興過程を学ぶツアー。(多数) 歴史的建造物についてプロのツアーガイドの話聞きながら学ぶ貴重な体験が出来た。建物の美しさだけでなく、歴史に精通し情熱を持った人から話を聞くことが面白かった。日本でしか体験出来ないことをその場で実際に学べるのは嬉しい。
- ・ 慈恵病院訪問。自分の国には「コウノトリのゆりかごの」のようなシステムが無いいため、興味深い話を聞くことが出来た。

<ホストファミリーについて>

- ・ ホストファミリーが色々なことに気を遣ってくれて居心地の良い体験が出来た。可愛らしいおばあちゃんがいつも温かく迎えてくれたり、ホストブラザー達も博識で面白い子ども達だったので、是非また訪ねたいと思う。
- ・ 年上のお兄ちゃんと言う役割は初めてでとても楽しい経験になった。
- ・ ホストファミリーを通じ同年代の人達とも知り合うことが出来た。お食事がどれも美味しかった！
- ・ アメリカでの私の生活やこれまでの人生にとっても興味を持って話を聞いてくれた。また1人なら食

べることに躊躇ってしまうような料理にもチャレンジするよう、背中を押してくれた。

- ・ 美味しいお食事と、頂き過ぎではないかと思う程の沢山のプレゼントを頂いた。とても居心地が良く、沢山交流が出来た。
- ・ 自分と同年代のホストシスターがいたこともあり、心から滞在を楽しむことが出来た。ホストファミリーデーにホストシスターとその友達と訪れた阿蘇山が美しかった。滞在期間が短かったのが心残り。
- ・ 一番お気に入りのホストファミリー！ホストマザーがとてもオープンマインドで、ホストファミリーデーには熊本市について沢山のことを教えてくれた。いつも私を理解しようと努めてくれて、私も自分の文化についてもっと話したいとモチベーションが上がった。彼女とは今でも連絡を取り続けている。

● 奈良県宇陀市



<参加者の感想、印象に残った活動>

- ・ 忍者体験と赤目四十八滝のハイキング。(多数) 言葉を失うような美しい景色の中、リラックスが出来た。また忍者トレーニングを通じ他の参加者との親睦を深めることが出来た。
- ・ マイ箸作り (多数)
- ・ 小学校訪問・初日対面式後などポットラックパーティーが何度かアレンジされていて、沢山美味しいお料理を頂いた。(多数)
- ・ 坐禅体験。聡明な僧侶から聞く説法には色々考えさせられ、仏教を通じた人生観などインパクトのある体験だった。

<ホストファミリーについて>

- ・ ホストファミリーはとても経験豊富で、自分達が家族の一員と感じられるよういつも努めてくれた。まるで自分の祖母の家を訪ねる子どものような感覚で時間を過ごすことが出来た。
- ・ ホストマザーがいつも嬉しそうに私達にお食事を提供してくれた。
- ・ ホストマザーが英語を話すことが出来、家族も皆オープンマインドで私の意見も尊重しながら温かく受け入れてくれたことが嬉しかった。
- ・ ホストファミリーが私達のために沢山のことをしてくれ、彼らに出会えてとてもラッキーだったと思う。

《第2セッション》



<スケジュール>

日付	概要
7月5日(水)	関西国際空港集合→吹田市、対面式
6日(木)	オリエンテーション、吹田市紹介、吹田市危機管理
7日(金)	市長表敬、将棋講座、浜屋敷見学
8日(土)	文化体験交流会（吹田市文化団体協議会主催）
9日(日)	ホストファミリーデー
10日(月)	パーソナルデー
11日(火)	関西大学訪問、ありがとうイベント
12日(水)	移動→上田市、対面式
13日(木)	上田市第三中学校及び丸子地域各小中学校訪問、市長表敬訪問
14日(金)	戸隠忍者博物館散策、善光寺訪問
15日(土)	スポーツ交流（長和町）、別所散策、信濃鉄道乗車体験
16日(日)	ホストファミリーデー
17日(月)	国際交流フェスティバル参加、ありがとうイベント
18日(火)	移動→伊勢原市、対面式
19日(水)	大山登山、大山阿夫利神社正式参拝、市役所職員と意見交換、甲冑体験
20日(木)	防災センター訪問、藍染め・駒回し体験、向上高校/ 自修館訪問
21日(金)	パーソナルデー

22日(土)	ホストファミリーデー
23日(日)	市民交流（ロータリークラブ主催）、ありがとうイベント
24日(月)	解散

プログラムカウンセラーを含めると全体数が36名と大所帯となった第2セッション。13年振りの再訪問となった上田市を第2都市に迎え、吹田（大阪）～上田（長野）～伊勢原（神奈川）と国内での地域の違い、また大阪や東京と言った都会と日本の山間地域の違いを経験することが出来た。

吹田市での文化交流会や浜屋敷訪問、上田市での国際交流フェスティバル、また伊勢原市での市民交流イベントなど、各都市で多くのイベントに参加させて頂いた。これらのイベントを通じ、茶道や生花、着付体験や将棋、藍染体験や大山駒体験、甲冑体験など盛りだくさんの伝統文化を体験出来る機会に恵まれた。また伊勢原市での大山登山（大山阿夫利神社正式参拝）では、恒例となっているお豆腐をメインとした精進料理体験など、第2セッションでも食を通じ地域を学ぶ体験が叶った。

地域青少年との交流においては、吹田市で恒例となっている関西大学訪問（サッカー部やESS部等有志の学生がツアーやアクティビティを企画）、上田市では長和町での子ども達とのスポーツ交流の他に、スクールデーとして滞在2日目には上田と丸子地区小中学校の5校を訪問し、SDGsをテーマに小グループでの意見交換の機会を持つことも出来た。また伊勢原市では地元の高校訪問や、ロータリークラブ主催のイベントを通じホストファミリーや地域の子供達と時間を過ごし、各地域で活発な交流の時間が持てた。

吹田市や上田市では市長表敬で意見交換の機会が設けられ、伊勢原市では市役所の若手職員と「自分の住む街の住みやすさ」について意見交換も行い、各地の行政からもWCI参加者目線から世界の情報を得たい、と言う意欲を感じる訪問となった。また吹田市での市役所職員によるレクチャーや、伊勢原市での防災センターでの体験を通じ、自然災害と防災が日本人の日常生活にとって密接であることを学ぶ機会となったことも特徴的だった。

いずれの活動においても、それぞれの目的や意図するもの、背景を伝えることで、参加者にとってより意義のある体験となることを、改めて各地域の実行委員会とも共有していきたい。

また上田市では、パーソナルデーの代わりに、上田市所有のバスによる善光寺や戸隠訪問、別所地域散策など観光の時間を設けて頂き、信濃鉄道乗車体験では、2019年の千曲川氾濫の影響について学ぶ機会も得た。

参加者は13名の高校生から40代の社会人まで幅広い年齢層のグループとなった。参加者内でのジェネレーションギャップを踏まえた上でスタッフとして各年代層へどう対応するか、大人数で活動する時の注意点、大人数だから出来ることの可能性の高さを再確認させられるセッションとなった。

- 大阪府吹田市



<参加者の感想、印象に残った活動>

- ・ 文化体験交流会。(多数) 浴衣の着付け体験、生花、茶道、組紐や手毬などの手芸体験がとても面白かった。また日本舞踊や盆踊りの体験も出来、何より地元の人達と交流する機会があったことが良かった。各ワークショップを指導して下さった先生達が忍耐強く色々なことを教えてくれて感謝している。
- ・ 浜屋敷訪問では、古い地車を実際見たり、地域に根ざした文化や歴史を学ぶ機会になって有意義な体験が出来た。(多数)
- ・ 表敬訪問時の後藤市長との対話では市長の人生観を聞いたり、オープンに色々な質問が出来て面白かった。(多数) 議会を見学した際に議長席に座ると言う普段出来ない体験が出来た。
- ・ 関西大学訪問。サッカー部によるツアーなど同年代の学生との交流は面白いし、言葉の壁があるからこそ楽しめるゲームの時間となった。
- ・ 将棋のレクチャー。初めて将棋を学んで魅力にハマった。

<ホストファミリーについて>

- ・ パーソナルデーでホストシスターの何人かも誘って、WCI メンバーと USJ に行ったこと。ホストシスターが楽しそうに過ごしている様子を見て私も嬉しくなった。
- ・ ホストファミリー体験は人生初めてだったが、家族が英語を話す、話さないに関わらず素晴らしい体験だった。
- ・ 最初は自分自身も緊張していたが、一旦打ち解けたらホストファミリーへの感謝の気持ちが日毎に深まった。出発の日に彼らが涙する様子を見て、自分が思う以上に何か私からもホストファミリーに残すことが出来るんだと実感した。
- ・ とてもフレンドリーで温かく迎えてくれた。
- ・ ホストファミリーがとても親切で、吹田市について沢山教えてくれた。
- ・ ホストファミリーが普段から国際交流に積極的に関わっていて (WCI の受入れは初めて) 共通の話題や価値観が合うため話しやすかった。また普段家族が週末にどう過ごすと一緒に体験が出来て嬉しかった。
- ・ 沢山の時間を一緒に過ごせたと、ホストファミリーがスウェーデンについて積極的に知ろうとしてくれたのが嬉しかった！
- ・ ホストファミリーの子ども達と沢山共通点を見つけ一緒にゲームに興じたこと、また家族が私のアメリカ文化に興味を持ってくれて嬉しかった。
- ・ ホストマザーがとても気があって何時間も色々な話が出来た。
- ・ ホストファミリーが他のホストファミリーと一緒にアレンジしてくれたたこ焼きパーティー。ホストシスターも他の参加者と話が出来て楽しそうだった。
- ・ 大好きなホストファミリー！ホストマザーが笑いのセンスのある人で、ホストシスターも私のことを心から歓迎してくれているのが伝わった。パーソナルデーに USJ に一緒に行けたのが嬉しかった。
- ・ 素晴らしい家族だった！また吹田を再訪して彼らと色々な話がしたい！
- ・ ホストファミリー体験は初めてだったので、ホストファミリーとの過ごし方を教えてくれたりとても良い体験が出来た。特にホストブラザー達が年齢の割にとっても考え方がしっかりしていて、色々な話が出来てとても良くてくれた。
- ・ ベテランのホストファミリーだったこともあり、初日から遠慮することなく何でも体当たりの挑戦が出来よう背中を押してくれた。ずっと行ってみたいと思っていた万博の太陽の塔に連れて行ってもらったことが吹田でのハイライト。ホストファミリーもとても優しい人で別れが辛かった。
- ・ ホストファミリーの 2 人の子ども達と沢山の楽しい時間が過ごせた。家族にとっても良くしてもらい、家族の友達家族も一緒に、大人数で一緒に時間が過ごせてとても楽しい経験が出来た。

- 長野県上田市



<参加者の感想、印象に残った活動>

- ・ 戸隠の忍者博物館は気温も涼しく、野外で伸び伸び過ごせとても楽しかった。(多数) からくり屋敷を自分達のペースで散策できたのが良かった。
- ・ 長和町でのスポーツ交流イベントでは、普段話す機会の無い地域の人達とも交流が出来て楽しかった。(多数)
- ・ 善光寺のお戒壇巡りが印象的だった。(多数) お戒壇巡りは最初不安だったが、普段出来ない体験が出来た。またその後自由に散策をする時間があってリラックス出来た。
- ・ 別所地区散策。安楽寺や国宝 八角三重塔はとても興味深かったし、足湯は初めての体験で面白かった。また帰りに皆んなで乗った上田鉄道は、駅長さんのハーモニカ演奏など楽しい時間になった。
- ・ 小中学校訪問。子ども達がとても楽しみにしてくれていた様子が伝わり、限られた時間ではあったが良い交流の時間が持てた。
- ・ 国際交流フェスティバルでは様々なアクティビティーが体験出来たし、地域の人たちと交流する機会が持てた。
- ・ 上田到着に実行委員会の皆さんが用意して下さった、夜店やアクティビティーが楽しかった。

<ホストファミリーについて>

- ・ 小さなホストブラザーとどう過ごしたら良いか最初は戸惑ったが、ホストファミリーデーに幼稚園のイベントに参加したり、人生初めての温泉体験が出来た。自分の居心地良いテリトリーから一歩足を踏み出すことにドキドキしたが、チャレンジしてみて本当に良かった！
- ・ 家族の皆さんがとても温かく迎えてくれて嬉しかった。
- ・ 都会の生活とは違ったライフスタイルを体験できる機会が持てて興味深かった。
- ・ ホストファミリーが毎日忙しい生活スタイルだったので沢山の時間を一緒に過ごすことは出来なかったが、その分一緒に過ごす時はとても密な時間が過ごせて良い関係を築くことが出来た。
- ・ ホストブラザーの野球の試合を観に行ったこと。家族全員で熱心に応援している姿が微笑ましくて、野球の試合を観るのは初めてだったが自分も野球ファンになった。
- ・ 最初は打ち解けるまでに時間が掛かったが、興味が違ったため同じ趣味について話す代わりに文化の違いについて沢山話が出来、そのことがきっかけで仲良くなる事が出来た。
- ・ 賑やかではなく落ち着いたご家族だったが、日中沢山活動する 1 週間だったのでゆっくりリラックス出来る時間となった。
- ・ 可愛いホストブラザー達と一緒にゲームをしたり、話好きなホストマザーといつも話題に尽きず楽しい 1 週間だった。またホストファミリーデーは山頂にある美術館やガラス博物館に行った後、ホストファミリーの友人家族とバーベキューをしてとても楽しい思い出が出来た。
- ・ ホストファザーが僧侶の方だったので、毎朝起きて一番にお寺で手を合わせる習慣を自分も体験出来た。
- ・ とても親しみを感じる、お気に入りのホストファミリーになった。

- ・ 翻訳ソフトを使いながらのコミュニケーションではあったが、とても親切にしてくれて親戚の人達にも会えたのが楽しかった。
- ・ とても温かい人達で、彼らと過ごす時間を通じて上田市が大好きになった。
- ・ ホストマザーやホストシスターと沢山色々な話が出来てとても仲良くなれた。
- ・ 沢山話をするご家庭では無かったが、とても良くしてくれて、ホストファミリーデーでは自分が楽しめるようプランを一生懸命考えてくれている様子が嬉しかった。またお迎えの後一緒にスーパーに行く時間が楽しかった。
- ・ お互いにベストマッチと思えるようなホストファミリー。自分のことを常に知ろうとしてくれ、一緒に過ごす時間が本当に楽しくこれからも連絡を取り続けたいと思う。
- ・ とてもフレンドリーで滞在期間中に体調を崩してしまった時とても良くしてくれた。予想していなかったような会話も出来、自分のことを家族の一員と呼んでくれたことがとても嬉しかった。
- ・ 初めて受入れをしてくださったにも関わらずとても思いやりを持って接してくれ、沢山話をする事が出来た。
- ・ ホストファミリーデーには浴衣を着せてくださり、ホストファミリーの友達家族も一緒にお祭りに参加したことがとても楽しかった。また、ありがとうイベントでカードを渡した時に涙を流して喜んでくださり、私が彼らに思う気持ちと同じように家族の皆さんも私のことを大切に思ってくれていることが嬉しかった。

● 神奈川県伊勢原市



<参加者の感想、印象に残った活動>

- ・ 大山でのハイキングがとてもよかった！（多数）とても暑かったが、野外で自分の身体を目一杯使えたこと、野生の鹿に遭遇したり景色が本当に美しかった。また大山阿夫利神社での正式参拝は貴重な体験となった。
- ・ 高校訪問。（多数。特に高校生の WCI 参加者から）新しい友達も出来、自分に近い年齢の生徒の学校生活を学んだり交流が持てて楽しかった。学生のみんがエネルギーで、書道体験など色々なアクティビティを準備してくれていた。またロータリークラブのイベントで彼らと再会したり、ありがとうイベントを観に来てくれてとても嬉しかった。
- ・ 防災センター訪問。（多数）台風の風の強さや東日本大震災と同じ震度を実際に体験したことは、大きな自然災害を体験したことの無い私にとって、全く新しい視点を得る体験となった。とても貴重な体験が出来たし、2 階の救命処置体験で自分自身その過程を再確認出来て良かった。
- ・ 藍染体験。
- ・ ロータリークラブのイベント。
- ・ 豆腐の精進料理。（特に食事制限のある参加者より）

<ホストファミリーについて>

- ・ ホストファミリーとは英語でのコミュニケーションが難しい時もあったが、初日から自分のことを心から歓迎してくれている様子が伝わり嬉しかった。

- ・初めての大家族と過ごす体験だったがとても楽しかった。
- ・ホストファミリーがいつも楽しそうにしている、自分にとってお気に入りの家族になった。
- ・ホストファミリーデーに、近所のホストファミリーと一緒にバーベキューをしたり、子ども達と一緒にドッジボールをした時間がかけがえのないものとなった。
- ・日本語の習得や色々な面で本当に助けてくれてとても感謝している。
- ・他の都市の2家庭を体験した今、近所の子ども達と一緒にドッジボールが出来る位、今は自信を持って小さな子ども達とも接することが出来るようになった。
- ・とても歓迎してくれて私の文化にもとても興味を持ってくれた。最初は3都市目となつては日本について私から尋ねる質問も出尽くしてしまったのではと感じたが、更に新しいことを学ぶことも出来たし、何より一緒に時間を過ごすことの楽しさや大切さを感じた。
- ・とても楽しい家族。ホストブラザーが元気一杯だった。良い意味で他のホストファミリーとは違った体験が出来た。
- ・小さい子ども達がいる家庭は初めてだったが、遊びやゲームを通じて彼らから簡単な日本語を学んだり、小さな子ども達と遊ぶことが自分にとってこんなに楽しいことだと分かり自分でも驚いている！
- ・ご両親が英語の先生と言うこともあり、子ども達も英語を良く話して驚いたし、一緒に遊んだ時間がとても楽しかった。
- ・活動後、帰宅して彼らと過ごす時間が毎日楽しみだった。
- ・家族の一員として接してくれたのが何よりも嬉しかった。
- ・自分のニーズを良く理解してくれていて、沢山会話をすることが出来た。とても心地良い時間が過ごせた。
- ・ホストマザーやホストシスターと本や好きなアイドルなど沢山共通点があり、とても楽しい1週間だった。
- ・沢山会話が出来たし、日本や日本でのマナーについて教えてもらった。
- ・子ども達がアメリカで暮らした経験があり、アメリカの文化やアメリカについて彼らが知っていることについて話が出来た。
- ・8歳のホストシスターとお互いに好きなことの共通点が沢山あり、沢山一緒に遊んだ。